

会場・アクセス

OPAM 大分県立美術館
Oita Prefectural Art Museum

大分県立美術館 2階 研修室 [大分県大分市寿町2-1]



©Hiroyuki Hirai



JR大分駅から

- JR大分駅府内中央口（北口）から徒歩15分
- JR大分駅前7番乗り場から、大分交通バス 青葉台線（田室町経由）23番、24番／県立図書館線（田室町経由）3番／スカイタウン高崎線（西春日町経由）8番に乗り、「オアシスひろば前」下車徒歩すぐ
- JR大分駅府内中央口3番乗り場、またはJR大分駅上野の森口前から、中心市街地循環バス「大分きんばす」に乗り、「オアシス広場前（県立美術館入口）」下車徒歩1分

お問い合わせ

NPO法人 BEPPU PROJECT（担当 立花・若竹）
TEL.0977-22-3560
E-MAIL.info@beppuproject.com
電話対応時間.月～金（9:00～18:00）

お申し込み

必要事項をご記入のうえ、下記のいずれかの方法でお申し込みください。

FAX **0977-75-7012**
(下記受講申込書をご利用ください)

E-MAIL **info@beppuproject.com**

WEB **http://ur0.biz/y7sn** [WEB登録フォーム]
(右の二次元バーコードをご活用ください▶)



締切 2016年10月6日（木）

※申込期間中に定員に達しなかった場合、追加募集をおこないます。

NPO法人 BEPPU PROJECT 行

FAX:0977-75-7012

FAX用

コピーしてお使いください

受講申込書 『アートマネジメント講座・入門編』の受講を申し込みます。

フリガナ 氏 名			性別	男 ☐	女 ☐	年齢	才
住 所	〒 ー						
TEL	()		E-MAIL				
FAX	()						
所属(団体・組織)			担当職務				
アートプロジェクトや地域づくりなど、特筆すべきご経験があればご記入ください							
本講座を通して学びたいことをご記入ください							

アートを社会のニーズに変える！

アート

マネジ

メント

講座

入門編

講師 森 司 | 熊倉純子 | 北川フラム | 中島諒人 | 市川靖子 | 橋本 誠 | 三浦宏樹 ほか

2016.10月-2017.3月

会場 大分県立美術館 2階 研修室 定員 30名(参加無料・要申し込み)

主催：大分県（平成28年度創造県おおいた推進事業人材育成プログラム）

企画・運営：NPO法人 BEPPU PROJECT

助成：文化庁 平成28年度 文化庁 文化芸術による地域活性化・国際発信推進事業

受講生募集

アートを社会のニーズに変える！

アートマネジメント講座・入門編とは

このたび大分県では、アートマネジメントの入門講座「アートを社会のニーズに変える!『アートマネジメント講座・入門編』」を開催します。本講座は、大分県内でアートプロジェクトを実践している、または今後実践したいと考えている方を対象に、アートプロジェクトの実施に必要な企画構想力、資金調達力、組織経営能力等の基礎を養うものです。国内のさまざまな地域で活躍するアートマネジメントの専門家を講師に迎え、先行事例な

どを通して、企画運営や発信のノウハウを学びます。さらに、本講座のコーディネートを務めるBEPPU PROJECTによる県内の事例紹介や、オリジナル教材を使用したレクチャーもおこないます。講座の受講生がアートプロジェクトの実践者となるだけでなく、これからの地域づくりの担い手として活躍する人材となることを目的としています。

本講座を通じて育成する、5つの能力

基礎力

アートによる地域性を活かした取り組みを行う上で必要となる基礎的なマネジメントを学ぶ

企画力

魅力的な企画づくりに向けたアイデアの発想法や、企画書・予算書・組織図の作成方法を学ぶ

運営力

企画を遂行するための進行管理の方法やアートプロジェクトにおける組織づくりを学ぶ

広報力

他者にとって理解しやすい伝わりやすい広報や発信を行うための考え方、手法、工夫について学ぶ

検証力

実施した企画の評価・検証の考え方や分析の仕方とともに、アーカイブや報告方法について学ぶ

受講対象

- 大分県内のアートプロジェクトに関わっている方。または今後実践しようとする方。
 - 原則として全日程参加できる方。
- ※申込者多数の場合は抽選をおこないます。

毎回講座終了後に、講師を交えて懇談会を開催します。(希望者のみ参加)

本講座ナビゲーターよりメッセージ

近年、県内各地では「混浴温泉世界」「国東半島芸術祭」「竹田アートカルチャー」など、地域性を活かしたアートイベントが数多く開催されており、文化芸術の振興だけではなく、アートによる地域活性化の成果が現れはじめています。2018年の国民文化祭・おおい2018、全国障害者芸術・文化祭おおい大会、2019年のラグビーワールドカップ、2020年の東京オリンピック・パラリンピック文化プログラムに向けて、ますますこれらのイベントを成功させるとともに、大分県ならではの地方創生の実現が期待されています。

そのためには、各地の地域性を活かしたアート事業を企画し、実行する組織や人材が必要です。アイデアを形にして継続させるためには、アートプロジェクトへの情熱だけではなく、アートを社会のニーズに変える力が不可欠です。本企画は、そのような能力を持つ人材を育成する、アートマネジメントの入門講座です。アートプロジェクトを実践されている方はもちろん、これから関わってみたいと思う方々や、事業が組み上がるプロセスに関心のある方など、多くの方々のご参加をお待ちしています。



やまいで じゅんや
山出 淳也

NPO法人 BEPPU PROJECT 代表理事
アーティスト

1970年大分県生まれ。PSIインターナショナルスタジオプログラム参加(2000～01)。文化庁在外研修員としてパリに滞在(2002～04)。アーティストとして参加した主な展覧会として「台北ビエンナーレ」台北市立美術館(2000～01)、「GIFT OF HOPE」東京都現代美術館(2000～01)、「Exposition collective」Palais de Tokyo、パリ(2002)など多数。帰国後、地域や多様な団体との連携による国際展開を目指して、2005年にBEPPU PROJECTを立ち上げ現在にいたる。別府現代芸術フェスティバル「混浴温泉世界」総合プロデューサー(2009、2012、2015)、国東半島芸術祭 総合ディレクター(2014)、おおいトイレンナーレ 総合ディレクター(2015)、平成20年度 芸術選奨文部科学大臣新人賞受賞(芸術振興部門)、文化庁第14期文化政策部会 文化審議会委員

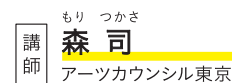
プログラム

各回には山出淳也がナビゲーターとして参加します。

第1回

2016年**10.15**[土] 16:00～18:00
アートマネジメントの基礎の基礎

アートマネジメントとは何かを理解し、アートプロジェクトを実施するうえで必要な基礎知識を学びます。



もり つかさ
森 司

アーツカウンシル東京

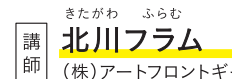


1960年愛知県生まれ。公益財団法人東京都歴史文化財団アーツカウンシル東京事業推進室事業調整課長。東京アートポイント計画の立ち上げから関わり、ディレクターとしてNPO等と協働したアートプロジェクトの企画運営や、人材育成・研究開発事業「Tokyo Art Research Lab」を手がける。「東京都による芸術文化を活用する被災地支援事業(Art Support Tohoku-Tokyo)」、「オリンピック文化プログラムの展開に向けた東京都のモデル事業である「リーディングプロジェクト」のディレクターを兼務している。

第3回

特別編
2016年**12.17**[土] 15:00～17:00
アートプロジェクトがもたらす変化

里山や過疎地域でおこなわれる大規模な芸術祭を事例に、アートプロジェクトによって地域や経済にどのような変化が生まれたかを知り、大分県ではどのような可能性があるのかを探ります。



きたがわ ふらむ
北川フラム

(株)アートフロントギャラリー代表取締役、(公財)福武財団 常任理事



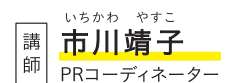
©Junya Ikeda

1946年新潟県生まれ。東京芸術大学美術学部卒業。「アントニオ・ガウディ展」、「ファール立川アートプロジェクト」等をプロデュース。地域づくりの実践として、2000年にスタートした「大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ」、「水都大阪」(2009)「瀬戸内国際芸術祭」(2010、2013、2016)では総合ディレクターをつとめる。2006年度芸術選奨文部科学大臣賞。2012年オーストラリア名誉勲章・オフィサー。2016年紫綬褒章受章。

第5回

2017年**2.4**[土] 15:00～17:00
伝わらなくては始まらない

魅力的な広報とは何か? 情報発信を行うための考え方、手法、工夫について学びます。また、BEPPU PROJECTで実際に行っている広報業務を参考にしながら、SNSの活用方法などを学びます。



いちかわ やすこ
市川靖子

PRコーディネーター

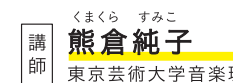


多摩美術大学大学院芸術学専攻修了。東京文化財研究所などを経てレントゲンヴェルケ勤務の後、ART@AGNESアートフェアの事務局代表を担当(2006～2009)。その後、あいちトリエンナーレ2010、アートフェア東京、ヨコハマトリエンナーレ2011などのプロジェクトで広報事務局を担当。ほか、京都国際写真フェスティバル(2013～)、映画『ハーブ&ドロシー 二人からの贈りもの』(2013)、国東半島芸術祭(2014)、混浴温泉世界(2015)等、広報を担当。

第2回

2016年**11.19**[土] 15:00～17:00
マル秘 魅力的な企画立案のコツ

魅力的な企画づくりのコツを、地域型アートプロジェクトの取り組み事例を参考にしながら学びます。また、BEPPU PROJECTが実際に使用した企画書や予算書を用いながら、企画書の書き方や、助成金獲得のポイントを学びます。



くまくら すみこ
熊倉純子

東京芸術大学音楽環境創造科教授

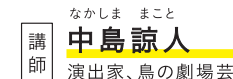


慶應義塾大学およびパリ大学で美術史と現代美術論を学ぶ。(社)企業メセナ協議会事務局勤務のち、2002年より東京芸術大学に新設された音楽環境創造科で社会と芸術を結ぶ人材を育成する。「取手アートプロジェクト」(茨城県)、「アートアクセスあだちー音まち千住の縁」(東京都)など、地域型アートプロジェクトに携わりながら、アートと市民社会の関係を模索し、国や自治体に文化政策を提案する。

第4回

2017年**1.7**[土] 15:00～17:00
アートプロジェクトを運営する!

企画を立ち上げ、遂行するために必要な進行管理や組織運営、拠点づくりについて学びます。また、BEPPU PROJECTが実際に使用した計画書や予算書、組織図を用いながら、会議の進め方やスケジュールの組み立て方を学びます。



なかしま まこと
中島諒人

演出家、鳥の劇場芸術監督



大学在学中より演劇活動を開始、卒業後東京を拠点に劇団を主宰。2004年から1年半、静岡県舞台芸術センターに所属。2006年より鳥取に劇団の拠点を移し、「鳥の劇場」をスタート。二千年以上の歴史を持つ文化装置＝演劇の本来の力を通じて、一般社会の中に演劇の居場所を作り、その素晴らしさ・必要性が広く認識されることを目指す。利賀演出家コンクール最優秀演出家賞(2003)、芸術選奨文部科学大臣新人賞(2009)。

第6回

2017年**3.4**[土] 15:00～17:00
継続していくために必要なこと

事業の評価・検証の考え方や分析の仕方とともに、アーカイブや報告の方法について学びます。また、BEPPU PROJECTが実際に作成した報告書を用いながら、報告書の書き方や帳簿の作り方を学びます。



はしもと まこと
橋本 誠

(一社)ノマドプロダクション 代表理事



©Kazue Kawase

1981年東京都生まれ。横浜国立大学卒業後、フリーのアートプロデューサーとして活動。2009～2012年、東京文化発信プロジェクト室(現・アーツカウンシル東京)で「東京アートポイント計画」の立ち上げなどを担当後、一般社団法人ノマドプロダクションを設立。芸術祭やアートプロジェクトに関わる企画制作や人材育成プログラムを手がけている。主な企画にKOTOBUKIクリエイティブアクション(横浜・寿町エリア/2008～)など。TARL(Tokyo Art Research Lab)事務局長(2012～)。



みうら ひろき
三浦宏樹

(公財)大分県芸術文化スポーツ振興財団 参与、アーツラボラトリー室 室長
1965年生まれ、東京都出身。1988年東京大学経済学部卒、日本開発銀行(現・株日本政策投資銀行)入行。経済企画庁出向、四国支店企画調査課長、日本経済研究所出向、大分事務所長などを経て2014年より財団参与(2015年よりアーツラボラトリー室室長兼務)。別府現代芸術フェスティバル「混浴温泉世界」実行委員会委員、大分市文化芸術まちづくり会議会長などを兼職。